

## スマイルニュースフラッシュ

表彰式で今後の抱負を話す会員



### 水軒の浜再生に 手づくり郷土賞

美しい白砂のビーチと松林があった和歌山市西浜の水軒の浜。当時の面影を復活しようと植樹活動をしている

「水軒の浜に松を植える会」が、魅力ある地域づくりをしている団体に贈られる国土交通省の「手づくり郷土賞」を受賞しました。同市で初、県内で十六年ぶりです。

同会は、一九六四年に埋め立てられた水軒の浜を県指定文化財の水軒堤防を軸に再生するため、〇八年に発足。雑木とゴミを一年がかりで取り除き、西浜中学生らと二千以上の松の苗木を植えてきました。また、堤防に遊歩道を造り、フィールドアスレチックや健康遊具、ドッグランを設置。市民の憩いの場へと変わりつつあります。

十四日、県庁で開かれた表彰式で豊田善之会長は「活動が評価されたのも関わってくれた皆さんのおかげ。今後も地道に取り組んでいきたい」。奥津尚宏事務局長は「史跡の石積堤防、白砂青松、健康推進をテーマに、子どもからお年寄りまでが集う歴史公園にしていきたい」と笑顔で語りました。